

は刊行が進んでいくに従い、責任を完うするために時宜に応じて行われたものであったのである。だからこのチームは同質的な組織ではなく、多くの人びとの社会学への協力を遂行しようとする熱意ととくに最終的に責任者となったデュルケームと彼の甥であり、同時に門下生であったモースに非常に多くの負担がかかっていたのである。そうした事情からこれがいわゆる帝国主義的といったものとは全く無縁の年報であったことは明らかである<sup>45)</sup>。そういう非難はちょうどソ連が鉄のカーテンを敷いて東欧陣営を固めながら、アメリカなどの第三世界援助に対して非難を浴びせていたのと同様、余り意味をもたないものであった。ただ年報の二巻の序文で社会学は歴史学を方法的に歴史の資料を整理していくものであるといったデュルケームの発言が他者を刺激した面のあったことは否定できない。しかしデュルケームはそうした面の研究をとくに宗教現象の史的解明に利用して独自の社会学的方法を確立し立派な業績を残したことは周知の事実である。この領域での研究面でデュルケームとモースの間には緊密な協力関係があったように考えられるが、第六巻の「分類の未開形態」は二人の共同著作であるだけで、具体的な共同研究の成果は残っているわけではなく、トーチミズムの研究などについてはそれがすべての未開社会において共通に存在した、つまりトーチミズムはすべての民族が未開時代に経過すべき段階であったと考えるのか否かという点についての基本的見解の一致が得られていたわけではなかったように、見解の相違を調整しようとする努力もなかったのである。Bougléとデュルケームの間にも必ずしも完全な見解の一致があったわけではない。そうした点については Besnard の *The Sociological Domain* の幾多の執筆者からも指摘されているのである。とくに強調されなければならないのは上にのべたデュルケームとモースの関係についてである。二人の間の協力はことにこの年報の刊行という仕事は緊密であり、その効果は何人の目にも明白であるが両者の関係は特に

親分、子分的なものではなかった。だからデュルケーム学派とうよりは二人はフランス社会学推進の協力者関係という形で協力は実現したのであり、デュルケームもあらゆる面でモースの意見を抑えつけていたのでもない。たとえばデュルケームは供犠の研究に際しては自からこれを奨励していたが、結果についての発表まで一々介入することはなく、また研究の途上において一々介入することはなかったのである。そうした点は最近刊行された Marcel Fournier、*Marcel Mauss* (1994) などにも明かにされている<sup>46)</sup>。これは相方とも研究者として立派な人格を具えていたからなのだし、しかしいやうがない、美事な協力関係である。とくに二人の関係で今までに余り明白にされてこなかった政治に対する関係においても同じ M. Fournier 編の *Marcel Mauss, Ecrits Politiques* (1997) など多くの事実が明かにされている。それらについては他日を期して詳細な報告を行いたいと考えている<sup>47)</sup>。

デュルケームについては戦前においてはマルクス主義的イデオロギーの見地からの批判が多いようで、特に彼が第一次大戦に際して行った愛国的な言論の文字にとらわれた批判がそれに対する反批判ないし反駁が余り行われぬまま歳月がたったため、それらが今だに妥当性をもっているように見られているものが少なかった。帝国主義的であるという非難も彼の著作全体との関連を忘れてなされたものであろう。しかしまた Steiner も<sup>48)</sup>のべているように、デュルケームのタルドとの論争に見られる態度やフランス哲学界の定期的会合に見られる質問に対する応答の硬直さなどだけでなく、この年報の目的が隣接諸科学において行われていることについての情報だけに止まらず、それらから得られる資料をまず社会的な練成にかけそれらを社会学の専門分野のように取扱ったこと、そしてそのためにそれらの内部に介入してそれらを更新しようとしたことなどの試みがみられたために非難をうけた点のあることは認めなければならないであろう<sup>49)</sup>。また社会学はこ

45) Philippe Besnard, *op. cit.*

46) M. Fournier, *Marcel Mauss.*, 1996.

47) Philippe Steiner, *op. cit.*, p. 99

48) これらについて Ph. Besnard が最近刊行した「デュルケームとモース間の往復書簡」でもふれられている。

49) Ph. Steiner, *op. cit.*, p.100